

## 2016年度 学位授与式 未来を切り拓く人に



4月に供用を開始する6号館（ソフィアタワー、写真左）6階にソフィアンズ・クラブ（卒業生ラウンジ）を移転しました。卒業後も母校を訪れてください

聖書の言葉「マタイによる福音書、25章34b-36節、40節」  
そのときイエスは弟子たちに言われた。「王は言う。『ああ、わたしの父に祝福された人たち、天地創造の時からお前たちのために用意されている国を受け継ぎなさい。お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渇いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。』  
』はつきり言うておけ。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』」

英語「Education is obligation」教育は責任です」といふ言葉があります。上智大学の教育を前提にするこの言葉を、皆さんが卒業する（お祝い）の時に思い出す必要があります。我々が生きているこの世界を少しでもなおすためには、良い教育を受けた人の力だけでは足りません。これは明らかだと思えます。むしろ、良い教育を受けた人は、困っている人を助けるために生きることが必要です。あるいは、右の聖書の箇所にも書かれているように、困っている人を偉大な王様のようにつかまなければならないと書かれています。教育は困っている人に対する責任です。皆さんはこのことを忘れず、上智の卒業生として生きていくことができますように祈ります。

カトリックセンター長 ホアン・アイダル

本日、学士の学位を取  
得られました皆さん、ご  
卒業おめでとうございま  
努力の成果が、学位取得  
という形で実を結んだこ  
ことを誇らしく思っている  
ことと思います。そうし  
た皆さんの表情を前にし  
ますと、私も感慨深いも  
のがあります。卒業生の  
皆さんをこれまで導き  
くださった先生方、ご父  
母の皆さま、ならびに  
母の皆さま、ならびに  
関係の皆さま方にも感謝  
を申し上げますと共に、  
心よりお慶び申し上げま  
す。

さて昨年2016年の  
夏、リオオリンピック・  
パラリンピックが開催さ  
れたことは皆さんの記憶  
にも新しいことと思いま  
す。日本選手団は史上最  
多の41個のメダルを獲得  
し、2020年に開催さ  
れる東京オリンピックへ  
の期待をおおいに膨らま  
せる素晴らしい結果を残  
しました。そのリオのオ  
リンピック開会式で、小  
さな五輪の旗を振りなが  
ら入場する10人の選手が  
いたことを皆さんはご存  
知でしょうか。彼らは、  
難民選手団です。母国で  
の迫害を逃れ他国での国  
籍取得に至っていない難  
民が、史上初めて一つの  
選手団としてオリンピッ  
クの舞台に立ったので  
す。

この難民選手団の中  
に、ユスフ・マルディニ  
という競泳の選手がいま  
した。ユスフ選手はシリ  
ア紛争から逃れるため、  
2015年、ギリシャの  
レスボス島を目指してト  
ルコから小さな難民ボ  
ートに乗りました。定員  
の三倍の人が乗ったボ  
ートを誇らしく思ってい  
るは、途中でエンジンが  
止まるという災難に見舞  
われ、溺れかけたボート  
に、ギリシャのレスボ  
ス島に到着したのです。  
乗船してい

### 卒業おめでとう 大学での出会いを心の礎に 上智大学長 早下隆士



いま上智大学を卒業す  
る皆さんは、近い将来多  
くの場においてのリーダ  
ーとなる人々です。その  
ために、今から真のリー  
ダーとは、どのような人  
物であらねばならないか  
を、常々考えて下さい。  
真のリーダーとなるべき  
精神を磨いてください。  
一つ助言するすれば、  
リーダーとは、ただ人々  
の先頭に立つということ  
ではありません。周りを  
理解し、他者のために弱  
く変わらない心で、皆で  
集まって生きる勇気  
をもちます。今後皆う  
さんの活躍の場は、国内  
にとどまることはないで  
しょう。海外に出て、異  
文化、異なる考え方にも  
関わることになるのでし  
ょう。しかし、魂の根底  
にあるゆるぎなきものは、  
上智大学の教育精神であ  
る「Men and Women  
for Others with Others  
(他者のために、他者と  
ともに)」。の心である  
ということ、どうか忘れ  
ないでください。

皆さんは、これから社  
会へ、または大学院へ進  
学することになります。  
しかし、皆さんは決して  
一人ではありません。本  
学の卒業生である田川  
さんを紹介いたします。  
田川さんは、2011年3  
月11日の東日本大震  
災の後、自らの支援物  
資を車に載せ、被災地  
からエールを贈ります  
ました。しかし物資輸送